

2026年3月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

| | | | |
|---------|---------|-------------------|---------|
| 大 阪 店 | +7.7 | 柏 店 | ※2 △1.3 |
| 京 都 店 | ※1 +8.8 | E C 店 | +20.4 |
| 泉 北 店 | +5.0 | (株)高島屋各店計 | +8.0 |
| 日 本 橋 店 | +18.9 | (株)高島屋各店 既存店計 | ※3 +9.4 |
| 横 浜 店 | +7.3 | 岡 山 高 島 屋 | △1.6 |
| 新 宿 店 | +8.0 | 高 崎 高 島 屋 | +8.2 |
| 玉 川 店 | +13.3 | 国 内 百 貨 店 計 | +7.8 |
| 大 宮 店 | +2.9 | 国 内 百 貨 店 既 存 店 計 | ※3 +9.1 |

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

- ※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。
- ※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。
- ※3 本年1月7日に営業を終了した「塚店」の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+7.8%(※+9.1%)、免税売上高+6.9%、免税を除いた店頭売上高+7.9%(※+9.4%)となりました。

※上記の数値は、2025年度決算に伴う売上高修正を反映しております。(2月度はマイナス、3月度は同額プラスの売上高修正)

売上高修正を除く実質の前年比(既存店対比)は以下のとおりです。

2月度: 店頭売上高+2.1% 免税を除いた店頭売上高+4.8%
 3月度: " +6.9% " +6.9%

○国内顧客は、春物衣料・雑貨に動きがみられたことや、食料品催事が堅調に推移したことで、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客については、中国による「訪日自粛要請」の影響がみられた一方で、その他の国が伸長し、前年実績を上回りました。

○店舗別売上高は、大坂店、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、EC店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類・既存店対比)は、紳士服、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、リビング、食料品、食堂、サービスが前年実績を上回りました。